

耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	扁桃摘出術における BiZact™使用の有用性の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 教授 藤本保志
研究の対象となる方	2022年4月1日から2025年3月31日までに扁桃摘出術を施行した患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2026年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>扁桃摘出術において使用されている止血を目的とした機械はバイポーラが全国的にも広く普及しており、当科でもこれまでに使用されてきました。2016年に扁桃摘出術に特化した機械 BiZact™が承認されました。この機械が扁桃摘出術においてバイポーラと比較し、優越性があるかどうかを検討することが目的です。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>扁桃腺摘出術に使用する手術器具における術後のデータを取得し、バイポーラ使用群と BiZact™使用群の術後成績を比較し、手術器具による手術時間や術後出血率、術後疼痛継続日数等の差を検討します。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>非該当</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見等を収集</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までに窓口での受付、電話等により下記問い合わせ先まで申し出てくだ

場合	さい。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 担当者：助教 中村宏舞 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(37200)